

子どもと地域が ゆるやかにつながる

地域住民と子どもたちが自由に集える交流の場。授業外の安心できる居場所づくりを目的に、本を通じた多世代のふれあいや、地域とのつながりを育む試行的な取り組みです。



最近では、学校支援本部の方々から「こんなこともやりたい」といった声が上がることがになり、読み聞かせや絵手紙教室と連携した活動も生まれ、地域主体の流れで活動が進んでいます。また、読書活動を通して、子どもたちの自己肯定感を育むことにも期待を寄せています。「物語の中で自分に似た主人公に出会ったり、憧れる存在を見つたりすることで、『これなら自分にもできるかも』と思える瞬間が生まれる。そんな出会いがあればうれしいです」と長友校長は

六小 Open Library & Cafe

場 所 清瀬第六小学校
北校舎1F学校図書館および家庭科室
住 所 清瀬市梅園2-9-45
開館時間 9:30 - 12:00
企画・運営 清瀬第六小学校学校運営協議会、六小プロジェクトX
協 力 NPO法人ウイズアイ
問合せ先 042-493-4316

開催日は公式ホームページをご確認ください
<https://kiyo6-projectx.jimdofree.com/六小openlibrary-cafe/>



Other 2024.5.26 START▶▶

NEXT LIBRARY

学校図書館の活用

— 六小 Open Library & Cafe —

**本と出会い、人とつながる
地域のもうひとつの居場所**

地域にひらかれた学校づくりの一環として、清瀬第六小学校では、学校図書館を開放する取り組みを始めました。校舎は玄関から学校図書館まで直結するような構造で、安全面にも配慮できる環境となっています。地域の方々の関係も深く、学校運営協議会と相談しながら、「ライブラリー&カフェ」というスタイルで実施しています。

この取り組みについて、長友校長は「学校なのに土曜日に来てもいいんだ、という特別感を味わってほしい。親でも

先生でもない第三者とつながる、斜めの関係性を築く場になれば」と話します。本を読むことだけを目的とするのではなく、友だちに会ったり、ちょっとした本音を話したりできる居場所づくりを目指しているといいます。

当初は六小学区の児童や地域の方々を対象にしましたが、友だちつてに他校の子どもたちも遊びに来るようになり、試行的ではありますが、名前を記入するだけで、どの子どもたちも受け入れています」と長友校長。習いごとでつながった子どもたちも増え、地域全体に広がりが見られるようになっていきます。

子どもや地域の方の
居場所として、
世代を超えた関わりを
育んでいきたいです



清瀬第六小学校
長友校長

語ります。

「私たちがやっていることは、あくまできっかけづくりです。この場所での小さな経験が、子どもたちの未来への一歩につながればと願っています」

こうした小さな積み重ねが、子どもたちの未来を支えていく力になります。

手のひらサイズの もうひとつの図書館

約16,000点の電子書籍が24時間365日読み放題。インターネットに接続された端末があれば、来館不要で貸出・返却が可能。絵本や調べ学習に役立つ児童書も充実しています。

電子図書館は、インターネットを通じて24時間365日、いつでもどこでも電子書籍を借りて読めるサービスです。現在、約1万6000点の電子書籍が揃っており、児童書や調べ学習に役立つ資料も充実。来館不要、非接触で貸出・返却ができるため、忙しい日々の合間や自宅での読書にもぴったりです。

「電子図書館は、本を読む新しい選択肢のひとつ。小さなお子さんから高齢の方まで、幅広い世代に使っていただきたいです」と話すのは、図書館職員の担当者。学校での調べ学習にも活用されており、必要な本を手軽に探して読むことができます。

電子図書館

対 象 者 清瀬市内に在住・在勤・在学で、清瀬市立図書館の利用登録をされている方
費 用 無料（通信費は利用者の負担）
貸出点数 3点まで（予約点数も3点）
貸出期間 2週間
問合せ先 042-492-8751（駅前図書館）

図書館利用カード、インターネット接続できる
端末が必要になります。



ご利用は公式ホームページから
[https://library-kiyose.
overdrive.com](https://library-kiyose.overdrive.com)



参加者の声

Q. スマホ講座に参加したきっかけは？

操作方法が全く分からなかったからです。

Q. スマホをもって変化したことはありますか？

テレビや新聞以外から情報を得られるようになりました。

Q. 電子図書館についてどう思いますか？

スマホで本が読めるなんて便利な時代になったと思います。

3

NEXT LIBRARY

2022.4.4 START ▶▶

電子図書館



いつでも本がそばにある
新しい読書体験

利用には、清瀬市立図書館の利用カードと、インターネットに接続できるパソコンやスマートフォン、タブレット端末が必要です。利用登録を済ませた市内在住・在勤・在学者なら、どなたでも無料で利用できます（通信費は自己負担）。

さらに、スマートフォンの使い方不安がある高齢者の方には、「きよせスマホチャレンジ事業」で基本操作からLINEの使い方など丁寧にサポート。スマホの無償貸出と講座を通じて、デジタル活用の幅が広がっています。

「スマホの使い方を覚えることで、読書や情報収集の楽しみが二倍に増えました」という受講者の声が多く寄せられています。読書スタイルの新たな定番として、電子図書館の活用が今、期待されています。

きよせスマホチャレンジ事業 —— 高齢者向けスマホ講座 ——

スマホを味方に
読書の世界を広げよう



お申込み・お問合せ

スマートフォンの操作に不安がある高齢者の方へ、清瀬市ではスマホの無償貸出と無料講座を定期的の実施しています。基本操作からLINEや、みんなチャレなどのアプリの使い方まで丁寧にサポートしています。

きよせスマホチャレンジ事業コールセンター
☎0120-630-057

●第2期への参加方法は市報6月1日号をご確認ください（全4期実施予定）。